

NPOワンポイントアドバイス!

～「参加してもらいたい人に申し込んでもらえる」チラシづくりのコツ～

メールやSNSが急速に広まっている今でも、「チラシ」による告知や参加者の募集は欠かすことができません。さらに、NPOの催しの場合「誰でもいいから人数さえ集まればよい」というものでもありません。そこで今回は、「参加してもらいたいと思う人に来てもらう」ためのチラシづくりのコツをお伝えします。

●「参加対象」や「参加条件」を明記しましょう。

・必要によっては、「以下のような人は参加できません」という「非対象者」を明記しても構いません。

●この催しに参加することで得られる成果を示しましょう。

・「いっぱい学べます!」ではなく、得られる技術や知識、持って帰れる成果物等を具体的・現実的に記載してください。

●申し込もうという判断を促す情報を積極的に提供しましょう。

・参加形態や参加費の柔軟性・多様性等があるときは、しっかり明記してください。
・参加パターンや参加費が一見して選択・チェックできる申込用紙にしてください。

●大げさな表現を使ったり、本当でない情報を掲載してはいけません。

・誤った情報は、団体自体の信頼を失うので絶対に避けてください。

●最初から一通り目を通せば、必要な情報が理解できるような構成にしましょう。

・重複はないか、重要な部分は強調されているか、申し込む側の立場になって見直してください。

●記載内容に間違いがないようにしましょう。

・年月日、曜日、時間、場所、申込先のメールアドレスや電話番号は意外に間違いが発生します。しっかり確認してください。

●情報を段階的に出していけるようにしましょう。

・申し込んでくださった方にのみ伝えればよい情報(当日の持ち物や、会場の詳しい案内など)は、無理にチラシに入れておかなくても構いません。

●その催しの「ウリ」を詳しく伝えましょう。

・特徴的な部分や過去の参加者からの推薦文などを記載すると、心に響きやすくなります。

●デザインより読みやすさを優先しましょう。

・紙とインクの色やフォントの使い方など、他団体のチラシを参考にすると良いです。

参考:『NPOマネジメント 51号』IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]発行



センター長のつぶやき

まちづくりセンターセンター長 丸藤 競

先日参加したとある研修で、高齢者に対してどのような支援が必要なのかを、具体例をもとに考えるという課題が出されました。例えば、「83歳の一人暮らしの女性で、要支援1。膝痛がひどく、掃除機が使えない。通院帰途中などで買い物には行けるが、荷物の持ち帰りが不自由」という具合です。

さて、皆さんならこの女性はどんな困りごとを抱え、どんな支援が必要だと思いますか?

参加者からは、「家事が不便」とか「洗濯機があれば洗濯は

できるが、干したり取り込んだりするの大変」などといった意見が出されました。それに対し講師からは、「同じ洗濯物でも、靴下なら干せるけどシーツなら無理といったことも考えられます。何ができて、何ができないか。もっと具体的に考えなければ、効果的な支援はできないですよ」との助言が。

支援と一言で言っても、全てをしてあげるのではなく、「できることを伸ばし自立につなげていく援助」が必要です。その人や地域にとって本当に必要なことは何か?シンプルですがとても難しい問です。しかし、それを的確に知っていくことがこれからの地域づくりには欠かせないと思います。

生活支援コーディネーターとして、まちづくりセンターのセンター長として、常に考え続けていかななくてはならない目線だと改めて考えさせられた時でした。